

# キャリア教育推進地域指定事業

推進地域名 宇 部 市

## 1. 研究のテーマと設定理由について

### (1) 研究テーマ

本市におけるキャリア教育推進地域指定事業は、大学や産業界等の献身的な協力及び実践協力校等の積極的な取組により、産学官の連携が深まり、着実に成果が上がってきていると考える。

「児童生徒一人ひとりの夢の実現」をめざし、各関係機関の一層の連携の強化を図ることを研究の方向性とし、これまでの成果と課題を踏まえ、最終年度の本年度は特に次の4点について、研究を深めることとした。

- 小・中・高のなめらかな連携をめざした全体構想及び年間計画の作成
- 小・中・高のなめらかな連携をめざした実践的研究
- 効果的な職場体験・インターンシップを可能にする受入先企業一覧の作成
- 研究成果のまとめと啓発

### (2) 設定理由について

第1年度は、指定事業初年度ということで、講師を招聘した教職員研修や各学校ごとのキャリア教育年間指導計画の立案、効果的な職場体験・インターンシップの実施等を中心に研究を行ってきた。

第2年度は、各学校のキャリア教育全体計画や実践事例をキャリア教育における4つの能力領域の視点から見直し、系統的なカリキュラム開発に取り組む一方、職場体験の受入先企業の拡大に着手した。

また、研究を進める中で、職場体験における反省点として、「体験すること自体が目的になってはいないか」「職場でのあいさつや返事についてもキャリア教育で指導すべきことではないか」「職場体験をすることでどんな能力を身に付けたいのか。子どもたちにもそのことが意識化されていないのではないか」等の意見があがった。

そこで、最終年度にあたる本年度は、子どもたちの育ちを校種ごとに見るのではなく、「つながりある育ち」ととらえ、「児童生徒一人ひとりの夢の実現」を校種間の連携の観点から研究することにした。

## 2. 各年度の事業計画について

年 度	研 究 の 概 要
第1年度 (平成16年度)	大学、商工会議所、各事業所、各学校の担当者、行政関係担当者からなる実践協議会を立ち上げ、「キャリア教育」そのものについて研究することを中心に活動した。「キャリア教育」に対する共通理解からはじめ、各学校における実践について確認し合い、研究の方向性を協議した。

第2年度 (平成17年度)	実践協議会において、各学校のキャリア教育全体計画や実践事例を、キャリア教育の4つの視点（人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力）から見直した。その一方で、職場体験・インターンシップの受入企業名、受け入れ可能人数、日数等を一覧にした受入先企業のデータバンクの作成に着手した。
第3年度 (平成18年度)	小・中・高のなめらかな連携をめざしたキャリア教育の全体構想及び全体計画、年間計画を作成し、それらを基にした実践的研究に取り組んだ。特に、小・中・高それぞれにおいて、キャリア教育にかかわる授業を公開し、異校種の授業を相互参観することによって自校における研究の参考とした。  また、効果的な職場体験・インターンシップを可能にする受入先企業一覧の作成や運用等についての研究を深めた。

### 3. 事業の活動内容及び成果と課題について

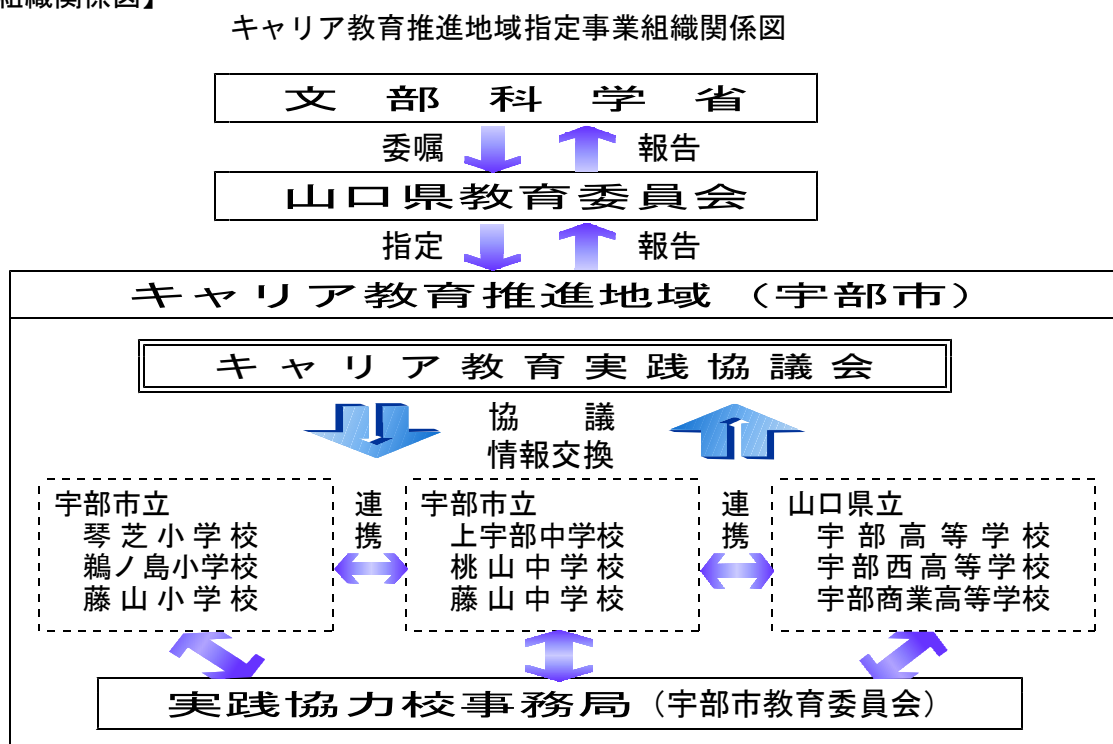
#### (1) キャリア教育実践協議会の位置付けと果たした役割及び成果と課題

##### ① 実践協議会の構成メンバーについて（平成19年3月現在）

所 属 ・ 職 名	備 考
宇部フロンティア大学教授	会 長
宇部商工会議所専務理事	副 会 長
宇部公共職業安定所長	
宇部市役所経済部商業観光課長	
宇部市役所経済部工業振興課長	
宇部興産(株) 総務・人事グループリーダー	
(株) 宇部井筒屋取締役	
新光産業(株) 総務部総務本部総務部長	
(株) 唐下水産代表取締役	
(株) 伊東工作所代表取締役社長	
共美工業(株) 代表取締役社長	
宇部市立琴芝小学校長	
宇部市立鶉ノ島小学校長	
宇部市立藤山小学校長	
宇部市立上宇部中学校長	
宇部市立桃山中学校長	
宇部市立藤山中学校長	
山口県立宇部高等学校長	
山口県立宇部西高等学校長	
山口県立宇部商業高等学校長	
山口県教育庁高校教育課主幹	

山口県教育庁義務教育課指導主事	
宇部市立琴芝小学校教務主任	
宇部市立鶺ノ島小学校研修主任	
宇部市立藤山小学校教務主任	
宇部市立上宇部中学校教諭	
宇部市立桃山中学校教務主任	
宇部市立藤山中学校研修主任	
山口県立宇部高等学校教頭	
山口県立宇部西高等学校教諭	
山口県立宇部商業高等学校進路指導主任	
宇部市教育委員会教育長	
宇部市教育委員会学校教育課長	
宇部市教育委員会指導主事	事務局担当
宇部市教育委員会指導主事	事務局担当

【組織関係図】



② 本年度の実践協議会における会議開催日毎の主な活動内容(議論の内容)について

ア 平成18年度実践協議会開催に向けての事前打合わせ

- 日時 平成18年4月26日(水) 16時～17時30分
- 場所 山口県立宇部商業高等学校 校長室
- 参加者 12名
- 内容 授業を通じた具体的な連携並びに授業公開について

イ 平成18年度第1回宇部市キャリア教育実践協議会

- 日 時 平成18年8月18日（金）14時～16時30分
- 場 所 宇部市野球場会議室
- 参加者 33名
- 内 容

【全体協議】

- ・ 平成17年度までの研究の経緯並びに本年度の研究方針について
- ・ 研究紀要の作成について（様式、掲載内容）
- ・ 授業公開について（公開授業を実施する学校、学年、時間、内容）

【班別協議】

- ・ 『系統的なカリキュラム開発班』  
指導案の形式、アンケートの内容について
- ・ 『バンク作成班』  
受入先企業の開発について  
データバンクの作成、掲載に当たっての留意事項について  
職場体験学習実施の留意事項について

ウ 平成18年度第2回宇部市キャリア教育実践協議会（授業公開と兼ねる）

宇部市キャリア教育推進地域指定事業の協力校の内、カリキュラム研究班の5校が、計16回の授業公開を実施した。第2年度までに研究してきた内容の成果を公開する場となった。

エ 平成18年度第3回宇部市キャリア教育実践協議会

- 日 時 平成18年11月30日（木）14時～16時30分
- 場 所 宇部市野球場会議室
- 参加者 35名
- 内 容

- ・ 研究紀要の構成について
- ・ 公開授業について（研究協議）
- ・ 変容を見るためのアンケートについて
- ・ 授業実践を通じた成果と課題について
- ・ データバンク作成作業

オ 平成18年度第4回宇部市キャリア教育実践協議会（悪天候のため中止）

- 日 時 平成19年 2月 2日（金）14時～16時30分
- 場 所 宇部市野球場会議室

※ 当日は研究紀要の構成、掲載内容について全員で精査検討する予定にしていたが、降雪のため、やむを得ず中止とした。当日検討予定の研究紀要原稿を郵送し、各自で精査することとした。

③ 本年度の実践協議会の活動の成果と課題について

ア 産学官の連携の充実

実践協議会を通して人的ネットワークが進み、産学官の連携が充実してきた。特に、

県教委、商工会議所等の働きかけにより、各学校はスムーズに職場体験・インターンシップ先の開拓を行うことができた。

#### イ 教職員研修の充実

地域の企業の経営者、市政担当者、保護者等を講師に招き、各学校が教職員研修に取り組んだ。特に本年度は、小・中・高それぞれが実施した授業公開をもとに、各発達段階で、子どもに「身に付けたい力」について、授業を通して研究を深めることができた。

また、これまで継続的に作業を重ねてきた職場体験・インターンシップの受入先企業一覧表が完成した。併せて、運用及び管理方法等についての共通理解を図ることができた。

#### ウ 小・中・高の連携の推進

これまでは実践協議会において、各学校の事例を紹介したり、協議を重ねたりすることにより校種間の理解を進めてきた。本年度は、それらを生かし実際に授業を通して校種間の連携を図ることができた。具体的には、小学校で取り組んでいる職場体験の場に高校生が指導者または介助者として参加したり、高校のインターンシップの場に小学生が一参加者として協力したりするといった連携である。また、本年度も中学生が高等学校の実際の活動の様子を参観する機会を設定する等、日常的に校種間連携を図る素地ができた。

#### ④ 実践協議会の活動の課題に対する本事業終了後の地域としての取組方針について

ア 小・中・高の各校種間の連携をより深めるために、実践協議会の場における連携にとどまらず、自主的な研修会や相互訪問等を継続的に実施する。

イ キャリア教育にかかわる授業を実施する際、キャリア・アドバイザーも参加する等の工夫をすることより、産学官の連携の継続を図る。

#### (2) 推進地域における活動の具体的な内容及び成果と課題

##### ① 三年間の本事業の実施を通して開発した小・中・高を通じた組織的・系統的なキャリア教育を行うための指導方法、指導内容について

小学校においては、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の各領域ごとに、キャリア教育に関連する内容の洗い出しを行った。その内容を学年ごとにまとめるとともに、関連性等を検討し、全体構想の下、全体計画、年間計画を作成した。中・高等学校においては、卒業生を招いたキャリア・セミナー「ようこそ先輩」を開催する等、継続的な取組ができた。

##### ② 本年度のキャリア・アドバイザーの確保及びその活用の在り方について

キャリア・アドバイザーを学校に招聘し、職業の紹介や働く喜びなどを聞く研修会を各学校ごとに開催した。協力校においては、小学校においては職業人としての父母を、また、中・高等学校においては、生徒の興味のある職種を選択して複数のキャリア・アドバイザーを招き、話を聞くことができるようにする等、工夫と改善が見られた。

##### ③ 本年度の職場体験・インターンシップ等活動推進のためのシステムづくりについて 職場体験・インターンシップ等の活動推進においても、協力先の開発が重要である。

受入企業の選定に当たっては、校区内の事業所等に各学校が依頼してきたが、これらのデータを集約し宇部市全体の受入先企業一覧を作成した。

また、本事業における実践事例集を県内の小・中・高に送付し、データや取扱方法について情報提供する。

④ 本年度の推進地域における活動の成果と課題について

本年度の主な活動は、小・中・高の授業公開である。これまで発達段階に応じた「身に付けたい能力」について共通理解を図ってきたが、それを公開授業をとおして、互いに確認し合えたことは一つの成果としてあげられる。授業公開の具体的な内容は、下の一覧表のとおりである。教職員だけでなく、協議会委員も授業参観をし、児童生徒の活動の様子や成長していく姿を見ることができた。こうした校種間連携の取組を、市内全域にどう広げていくかが課題としてあげられる。

月	日	曜日	学校名	公開時間	学年	学習内容	形態
10	2	月	宇部西高校	13:30~15:20	1年	夏季体験学習全体発表会	発表会
	11	水	鶯ノ島小学校	11:30~	3・4年	総合的な学習の時間	授業
	16	月	藤山小学校	10:15~11:45	5年	西高生との稲刈り	実習
	24	火	藤山中学校	11:40~12:40	1年	「地域学習」発表会	発表会
11	1	水	宇部商業高校	13:25~	2年	職場訪問を終えて	授業
	8	水	鶯ノ島小学校	14:25~	5・6年	高学年ブロックの事例発表	職員研修
	16	木	藤山中学校	8:50~10:40 10:50~12:40	1年	技術・家庭科「コミュニケーション能力を高める」	授業
	18	土	宇部商業高校	9:30~15:30	全学年	「宇部商デパート」	実習
	19	日					
	19	日	宇部西高校	9:30~15:30	全学年	西校祭	実習
	28	火	鶯ノ島小学校	13:30~14:15 14:45~	特別支援学級	総合的な学習の時間 授業参観後の研修会	授業 職員研修
	30	木	宇部商業高校	13:25~	3年	宇部商デパートの各店舗報告	授業
12	18	月	宇部西高校	13:30~15:20	2年	進路体験学習	授業
1	17	水	宇部西高校	9:00~11:20	3年	卒業研究全体発表会	発表会
	17	水	宇部商業高校	14:25~	3年	受験体験談	講演会
	24	水	宇部商業高校	14:25~	3年	課題研究発表会	発表会
2	19	月	宇部西高校	13:30~15:20	1年	ライフプラン全体発表会	発表会

⑤ 本事業終了後の推進地域における活動課題に対する今後の取組方針について

本事業終了後においても、「児童生徒一人ひとりの夢の実現」をめざし、引き続きキャリア教育に取り組んでいきたい。特に、全体構想に示した考え方や各校種ごとの全体計画や年間指導計画の内容は改善を加えつつ継続してしていきたい。

⑥ 本年度の都道府県・指定都市教育委員会の地域・学校に対する支援内容について

ア キャリア教育の普及啓発

○ 県キャリア教育フォーラム、地区推進会議の開催

- ・ 県教委主催のフォーラムや地区推進会議で指定地域の研究内容を発表し、協議することで、研究内容を県下に広めるとともに課題の究明と解決方策を検討した。

○ キャリア学習プログラムの配付

- ・ リーフレット「キャリア教育学習プログラム」を配付（県下の小・中・高の全

教職員対象)し、教職員一人一人がキャリア教育に対する理解を深め、具体的な実践に結び付くようにする。

○ 保護者への啓発

- ・ 県教委作成の情報紙「ふれあい夢通信」において、保護者向けにキャリア教育特集号を発刊し、保護者のキャリア教育に対する理解と家庭におけるキャリア教育の在り方を示した。

イ 連携協力体制の構築

○ 商工会議所等との連携強化

- ・ 職場体験・インターンシップのスムーズな実施と受入先企業リストの作成のために、商工会議所等との連携を強化した。

⑦ キャリア教育実践プロジェクト（キャリア・スタート・ウイーク推進地域）との連携について

これまでキャリア・スタート・ウイーク推進地域との連携は、特にしていないが今後の検討課題としたい。

⑧ 今年度の関係機関・他府省事業等との連携について

本研究においては、他府省事業所等と特に連携していないが今後の検討課題としたい。

(3) 各実践協力校における活動の具体的な内容及び成果と課題

① (2)①を踏まえた各実践協力校における本年度活動の具体的な内容

具体的な活動の一例として、小学校における稲作体験学習があげられる。田植えから稲刈りまでの一連の作業を体験したが、この中で子どもたちは、作業の大変さや苦しさと同時に、作業を進める上での工夫や友達と協力することの重要性を学んだ。この稲作体験学習には、農家の方にアドバイザーを依頼したが、同時に高等学校の総合学科で農業について学んでいる生徒もアドバイザーとして参加した。収穫できた餅米を材料にして餅つき体験をし、その餅を小学生が商業高校の実習（宇部商デパート）で販売するという連携につながった。

② 本年度の各実践協力校における活動の成果と課題

キャリア教育の授業をとおして、小学生と高校生が交流できたことは双方にとって意義深い体験となった。小学生にとっては、仕事の内容について高校生に指導を受けたり、手助けをしてもらったりすることとなるが、これは同時に高校生にとっては、小学生に伝えることをとおして、自分たちが学んできたことを再確認する場となった。こうした校種間連携の取組を事業終了後、市内全域にどう広げていくかが課題としてあげられる。

③ 本事業終了後の各実践協力校における活動課題に対する今後の取組方針について

本事業終了後においても、「児童生徒一人ひとりの夢の実現」をめざし、引き続きキャリア教育に取り組んでいきたい。特に、全体構想に示した考え方や各校種ごとの全体計画や年間指導計画の内容は改善を加えつつ継続していきたい。

④ 各実践協力校における児童生徒の勤労観、職業観に対する意識の変容等について

中学校では、職場体験を行う前は、働くことの目的が「日常生活をしていくためのお金を得るため」や「家族のため」という意見が多くを占めていたが、実施後は、「人の

役に立つ」や「自分の世界を広げる」などといった自分自身の「生き方」にかかわる意見が増えてきた。仕事をとおして社会とつながる自分自身を見つめるよい機会となったようである。また、働くことに関するイメージにおいても、実施前は、「きつい」「大変」「疲れる」といったマイナスイメージが多く見られたが、実施後は、「生き甲斐」「人とのふれあいがもてる」など、働くことへのイメージの変容が見えた。

職場体験を通して、「自分に自信がもてるようになった」「自分の将来を見据えて勉強する気になった」「体験した職業を見直した」「その仕事に就きたいと思うだけではいけない。やりたくないことも職場の一員としてこなさなければならない」などといった責任感の必要性を感じる生徒もいた。

全体的に、概ね望ましい勤労観や職業観が育成されてきているととらえることができる。教職員以外の大人から指導を受けることが、児童生徒にとっては貴重な体験となり、仕事そのものや働く意義について、素直に考えるよい機会となったようである。

#### 4. 全体的な研究の総括と展望

##### (1) 校種間の連携による組織的な取組の充実

- ① 発達段階に応じてキャリア教育を推進していくため、キャリア教育にかかわる授業等を積極的に公開するなど、小・中・高が連携して日常的・具体的な実践研究を充実する。
- ② 計画的・系統的に取り組むために、全体計画・年間計画を作成し、校務分掌に明確に位置付ける。

##### (2) 体験学習等の充実

- ① 職場体験やインターンシップ等の体験学習を一過性の行事にしないため、事前・事後の学習を充実する。
- ② 職場体験やインターンシップ等の体験学習が、児童生徒にとって、社会性を身に付けたり、コミュニケーション能力の向上させたりするなど、実際の変容につながるとともに、企業においてもメリットがあるものにする。

##### (3) キャリア・カウンセリング能力の向上

- ① キャリア教育の理解を促進するための研修やキャリア・カウンセリング能力の向上を図るための実践研修の充実を進める。
- ② 児童生徒一人ひとりに対するきめ細かな指導・援助を行うため、学校全体でキャリア・カウンセリングを推進する。

##### (4) 保護者・地域におけるキャリア教育の推進

- ① 保護者に対して、キャリア教育の必要性及び発達段階に応じたキャリア教育の進め方を示し、家庭におけるキャリア教育を支援する。
- ② 保護者に対して、産業構造や進路をめぐる環境の変化、就職に向けた支援活動等、積極的に情報提供を行う。
- ③ 職場体験やインターンシップ等がキャリア教育の一環としての取組であることを、「学校だより」等をとおして社会全体に発信し、地域社会の理解と協力を得る。